

## 課題情報シート

課題名： 待庵内装再現  
施設名： 職業能力開発総合大学校東京校 課程名： 専門課程  
訓練系科名： インテリア科 課題の区分： 総合制作実習課題 課題の形態： 制作

### 課題の制作・開発目的

【課題実習の前提となる科目または知識、技能・技術】  
建築施工、インテリア施工、建築施工実習、インテリア施工実習

【課題に取り組む推奨段階】  
仕上工法技術習得後

【課題によって養成する知識、技能・技術】  
茶室、湿式仕上、在来軸組工法

【課題実習の時間と人数】  
人数 4人  
時間 216時間

千利休が造り上げた「待庵」という茶室は、二畳という無駄のない極限の空間です。そして、現在も人々を魅了し、多大な影響を与え続けています。その極限の空間を再現することによって、茶室建築の特徴とその施工法を理解しました。さらに、今までの実習で習得した、内装の施工や左官の技術を活かして茶室の内装工事を行うことにより、自分たちが持つ施工技術の向上をめざしました。

### 課題の成果概要

茶室建築「待庵」の設計者である千利休について調査をおこない、待庵を制作しました。  
制作方法は、既存の図面を参考にして、自分たちで施工可能な方法を考えて、各種図面の作成から仕上げまで行ないました。写真1、2を比較すると分かるように、待庵の持つ「古さ」まで再現することはできませんでしたが、空間の広さや、見切り縁や棹縁としての竹や付け柱などの丸太は上手く再現することができ、茶室の構造やおさまりさらには施工法まで理解することができました。また、図面を描く能力や、内装工事の技術力が最初の段階からより向上し、作業効率も上がりました。



< 写真1 実際の待庵 >



< 図2 待庵再現 >

### 課題制作・開発のポイントおよび所見

本課題においては、図面を読み、各種図面を描き、それを施工することで、細部のおさまりについての理解と施工技術の向上を図ってもらうことをねらいとしていました。このため、学生の側から助けを求められた場合を除いて、基本的には教師側から解答は与えず、実際の作業においても、危険な作業以外は学生自らが行ないました。

チームワークを組んで茶室の内装をやり遂げたことにより、個人の施工技術の向上はもちろん、自ら考えること、自らの意見を表現すること、さらには協調性が養われたと考えます。

### 課題に関する問い合わせ先

施設名 職業能力開発総合大学校東京校

住所 〒 187-0035  
東京都小平市小川西町2-32-1

電話番号 042-341-3331 (代表)

施設Webアドレス <http://www.ehdo.go.jp/tokyo/ptut/>